

2023年2月6日

2023年3月期 第3四半期 決算短信補足資料



証券コード：4886

あすか製薬ホールディングス株式会社

2023年3月期 第3四半期 決算ハイライト

売上高 (連結)

- ✓ **472億円、前同比7.0%増加**
医療用医薬品事業、アニマルヘルス事業が着実に拡大しました。

売上原価

- ✓ **248億円、売上原価率前同比0.5ポイント改善**
先発医薬品である「レルミナ」「チラーヂン」「リフキシマ」の伸長による製品ミックス改善が寄与しました。

販管費及び 一般管理費

- ✓ **173億円、前同比8.2%増加**
経済活動の正常化に伴う事業活動費用の増加が影響しました。

営業利益

- ✓ **50億円、前同比7.8%増加**
販管費、研究開発費の増加はあったものの、売上、売上総利益の増加により増益となりました。

損益計算書（連結）

単位：百万円	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	増減額	増減率
売上高	44,179	47,259	3,079	7.0%
営業利益	4,677	5,041	364	7.8%
経常利益	4,790	5,246	456	9.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,082	4,183	100	2.5%

増収・増益要因

- ✓ 医療用医薬品事業では産婦人科領域において「レルミナ」が前年に引き続き大きく増加したほか、「フリウェル」が堅調に推移し、2022年6月に発売した「ドロエチ」が売上を牽引しました。内科領域においては「チラーヂン」、「リフキシマ」が着実に伸長しました。
- ✓ アニマルヘルス事業では主に飼料添加物の売上が堅調に推移しました。

事業別売上高（連結）

単位：百万円	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期	構成比	増減額	増減率
医療用医薬品事業	39,685	41,916	88.7%	2,231	5.6%
アニマルヘルス事業	4,377	5,187	11.0%	810	18.5%
その他事業	116	155	0.3%	39	33.6%
合計	44,179	47,259	100.0%	3,079	7.0%

主要製品売上高（あすか製薬）

単位：百万円

領域	区分	製品	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期		2023年3月期計画		ご参考	特記事項
			実績	実績	前同比(%)	見込	前同比(%)	期初計画	
内科	AG	カンデサルタン類 ※1	9,795	8,464	86.4%	10,650	86.0%	10,840	薬価はダウンしたが数量ベースは維持
	先発品	チラーチン	5,842	6,031	103.2%	7,736	103.1%	7,714	想定通りの進捗
	先発品	リフキシマ	3,795	4,230	111.5%	5,414	111.5%	5,289	肝硬変診療ガイドラインが浸透
	先発品	メルカゾール	1,144	1,163	101.7%	1,484	101.8%	1,440	想定通りの進捗
	GE	アムロジピン	848	710	83.7%	914	85.2%	963	薬価ダウンの影響
産婦人科	先発品	レルミナ	5,713	6,995	122.4%	9,318	126.9%	9,779	内膜症での浸透が想定より若干遅れている
	AG	フリウエル	2,643	2,718	102.8%	3,478	100.4%	3,083	薬価はダウンしたが市場の拡大により増加
	GE	ドロエチ	—	2,538	—	3,376	—	1,944	1社単独発売、想定以上の伸び
	先発品	アンジュ	665	626	94.1%	830	97.2%	896	想定通りの進捗
	先発品	ルテウム	475	918	193.4%	1,253	189.6%	836	不妊治療保険適用開始などにより増加
	先発品	マグセント ※2	703	484	68.8%	614	72.2%	682	新薬創出加算返還
泌尿器科	GE	リュープロレリン ※3	3,932	3,930	99.9%	5,025	97.0%	4,589	薬価はダウンしたが想定より数量が増加

※1 配合剤を含む

※2 硫酸マグネシウム製剤の合算値

※3 1.88mg製剤は産婦人科適応のみだが、3.75mg製剤との合算値

主要事業分野別売上高（あすかアニマルヘルス）

単位：百万円

事業分野	2022年3月期 第3四半期	2023年3月期 第3四半期		2023年3月期計画	
	実績	実績	前同比(%)	見込み	前同比(%)
飼料添加物 混合飼料 飼料原料	2,676	3,258	121.8%	3,855	109.9%
畜産用医薬品	1,166	1,264	108.4%	1,532	104.5%

2023年3月期業績予想（連結）

単位：百万円	2022年3月期 実績	2023年3月期 期初予想	2023年3月期 予想（修正※）	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	56,607	57,500	60,000	3,392	6.0%
営業利益	4,795	4,200	5,200	404	8.4%
経常利益	4,880	4,300	5,300	419	8.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,290	3,300	4,200	△90	△2.1%

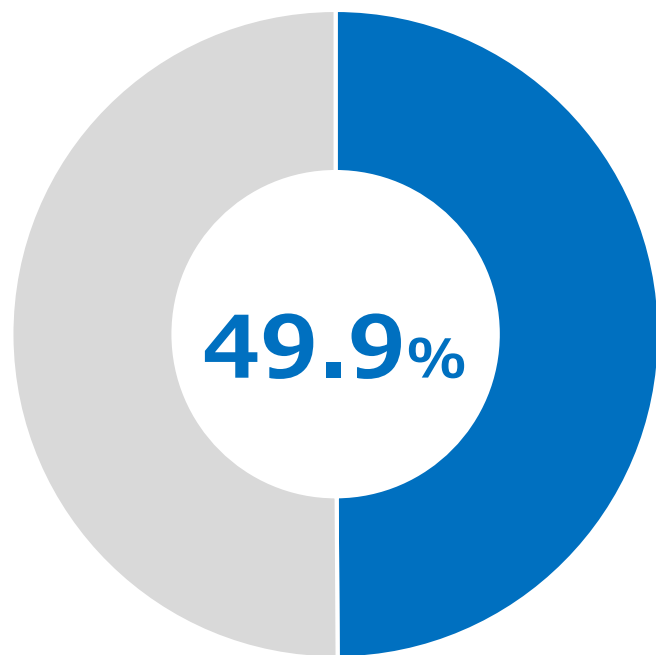
直近に公表されている業績予想※からの修正はございません

※2022年11月7日 公表「2023年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」

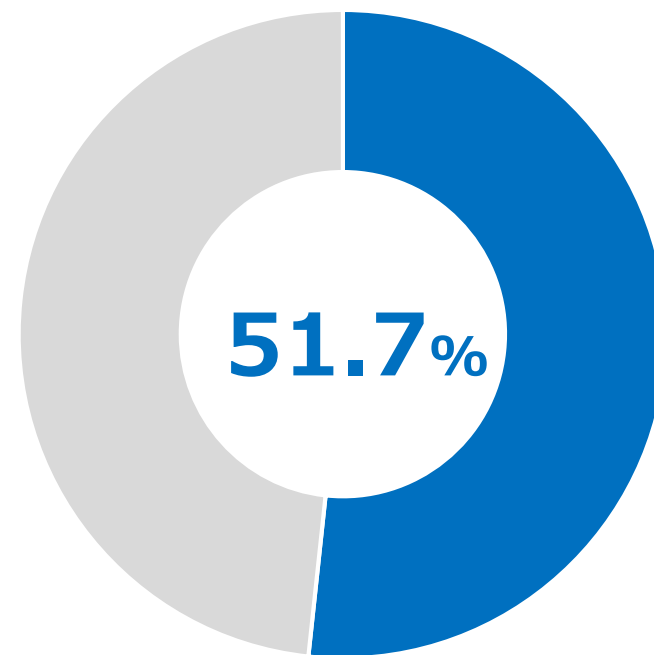
先発品・GE品売上高比率

■ 先発品 ■ GE品

2022年3月期 第3四半期



2023年3月期 第3四半期

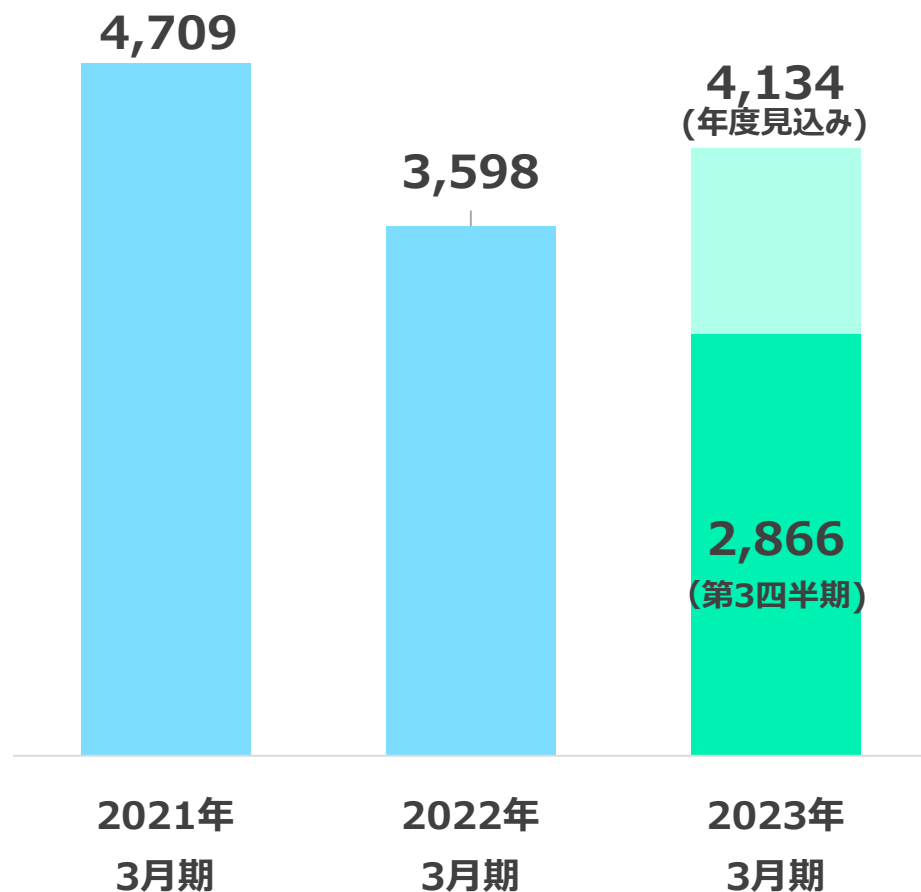


レルミナ、リフキシマ、チラーヂンの伸長により製品ミックスが改善し、先発品比率は1.8ポイント上昇しました。

研究開発の状況

研究開発費推移

(百万円)



2023年2月6日時点

開発番号(一般名)/領域・効能	状況
LF111 (ドロスピレノン) 避妊	Ph III
(オプション契約) PMS/PMDD治療薬 レナサイエンスにて開発中	Ph II (医師主導)
(オプション契約) 子宮頸部異形成治療薬 キノファーマにて開発中	Ph I / II (韓国)
TRM-270 (癒着防止材) 消化器領域・産婦人科領域	Ph III
L-105 (リファキシミン) 肝性脳症 (小児)	Ph II / III
AKP-009 (ルダテロン酢酸エステル) 前立腺肥大症	Ph II
AKP-022 (レルゴリクス配合剤) 子宮筋腫	開発準備中

AKP-009 高用量で追加のPh I 試験を終了 (2022年4月)
TRM-270 Ph III試験を開始 (2022年11月)